

ライチ便り No. 45

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2020年2月号～

<http://lychee-club.jp/>

世界中が新型コロナウイルスの感染拡大で騒然としています。2月11日には第13回飲茶会を行って、王和雄先生のご指導くださる3品の美味しい中国料理を楽しみましたが、今となってはまるで遠い出来事のように感じられます。2月22日23日に予定されていた春節祭はキャンセルされました。もう少しあとだったら飲茶会も実施できていなかったかもしれません。

一日も早くこの疫病の流行が収束しますように！

「広州加油」キャンペーンを展開しました

新型コロナウイルスと闘っている広州の友人たちを支援しようとの声がライチ倶楽部内から起こり、2月14日付け呼びかけ文書を全会員向けに発送して募金を始めました。28日を締め切りとした短期間にもかかわらず、33万円余のお金が集まって、事務局の方が驚きました。このお金で広州市の妊婦さんを対象に、消毒用ティッシュやマスク用ガーゼ布、ゴムテープ、粉ミルクなどを買い集めました。

ご協力くださった皆さまにはこの場を借りて、深く御礼申し上げます。



物資の輸送にかなりの時間がかかることが見込まれたため、まず清水会長名で広州市人民対外友好協会劉保春会長あてのお見舞いメッセージと、友好都市を記念する中国語の歌「木綿と桜」の合唱動画を送りました。このメッセージと動画は、広東地域で広く報道すべく宣伝部に伝えられたと聞いています。劉保春会長からはとてもいねいなお礼の手紙が届きました。

その後、物資の空輸には厳しい条件があって難しいことがわかり、支援物資輸送の船便で急遽山東省に運びました。その後は物資はあきらめ、残金25万円は、駐福岡中国総領事館に相談しながら、広州市への送付先限定付きで、中国銀行大阪支店に振り込みました。広州市では受け取ったお金を妊婦さんのために役立ててくださることにしています。

広州市から福岡市に支援のマスクが 30 万枚届きました

福岡市は広州市に義援金として 100 万円を送っていましたが、一応新型コロナウイルス感染が落ち着いた広州市から 3 月 15 日に友好都市福岡あてに 30 万枚のマスクが届けられました。箱には「日中の友情は永遠に！」と記されていました。マスク不足の折から大変タイムリーな支援となり、福岡市では医師会や教育、福祉関係局をつうじて必要性の高い公共的な場所に配布されたそうです。



広州市側の意向で、そのうち 1300 枚が福岡広州ライチ倶楽部に割りふられました。広州市からの伝言では「会員さんの各家庭に数枚ずつ配って」という趣旨だったようですが、役員で協議した結果、必要性の高い人々に届ける方がより有効では、ということになり、当倶楽部に関係の深い 3 つの高齢者・障がい者施設と 2 つの外国人のための日本語学校で使ってもらうことにしました。お送りした先からは「マスクが入手できないので、皆に作り方を教えていたところですよ、助かりました！」などと大いに喜ばれました。



新年度総会は文書郵送の形式で行います

4 月 23 日に天神スカイホールで行う予定にしていた新年度の総会は、実施 1 か月前に会場をキャンセルし、文書を郵送する形で行うことにしました。現在 2019 年度の決算、事業報告の作成に着手しています。新年度予算案、事業計画案、役員交代案なども仕上げ、4 月中旬には郵送しますので、ご覧いただき、必要事項をご記入の上ご返送くださいますようお願いいたします。

年に一度の会員相互の懇親の場が持てないことはとても残念です。この病疫が収束したら、機会をみて皆さまとお会いできる場を作りたいものです。

-
- * 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
 - * 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000 円 団体：一口 10000 円
 - * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。
- 連絡先：y-chiba@lychee-club.jp